

東海大学医学部付属病院にて

2001年1月1日から2021年12月31日の期間に膵胆道腫瘍（疑いも含む）の
外科的切除術、生検あるいは細胞診検査された患者さんおよびそのご家族の方へ
生命科学・医学系研究に対するご参加のお願い

【研究の実施について】

東海大学医学部付属病院では、上記のご病気で入院・通院・手術・検査された患者さんの試料（病理診断後に保管されている病理検体）・情報（診療記録）を使い、病気の理解や治療法の向上を目的とした研究を行っています。

この研究は、東海大学医学部臨床研究審査委員会の承認を受け、法律や倫理指針に従って実施されます。患者さんの個人情報、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して使用いたします。なお、研究成果は、学会や論文で発表されることがあります。

【参加を希望されない場合】

ご自身やご家族の試料・情報を研究に使用されたくない場合は、研究成果が公表される前までに、下記の連絡先までご連絡ください。ご連絡があれば、研究対象から除外いたします。但し、研究成果の公表手続きがなされた後には除外することができませんので、ご了承ください。

なお、本研究へのご参加の有無が診療や治療に影響することはありませんのでご安心ください。

【研究の概要】

対象者：西暦2001年1月1日～2021年12月31日の間に、当院の消化器外科ならびに消化器内科で膵胆道腫瘍（疑いも含む）の外科的切除術、生検あるいは細胞診検査を受けた18歳以上の方

研究課題名：膵胆道腫瘍の分子病理疫学解析による腫瘍サブタイプの検討に関する研究

倫理審査番号：24R140

研究期間：2024年12月2日～2029年10月31日

【本研究の目的・意義】

下記の試料・診療情報等を利用し、膵臓・胆道腫瘍のなかで今まで発見されていなかった特徴的な一群（腫瘍サブタイプ）をみつけることを目的とした研究を実施します。当院において膵臓・胆道腫瘍（疑いを含む）の病理検査を受けられた方を対象として、研究者が診療情報と病理試料から得られた遺伝子・蛋白質情報を解析し、腫瘍サブタイプを特徴づけるデータを選び、腫瘍の悪性度や生存予後に関する分析を行い、分析結果をもとに効果的な治療法・診断法・予防法の提案を目指します。

【使用する試料・情報の例】

この研究に使用する試料として、すでに保存されている下記に記載する検体を使用させていただきます。また、この研究に使用する情報として、診療記録から下記に記載する情報を抽出し使用させていただきます。

試料：病理診断後に保管されている病理検体（組織スライド、細胞診スライド、ホルマリン固定後残組織および細胞診残試料）

情報：年齢、性別、血液型、原疾患、生活歴、家族歴、既往歴、治療歴、服薬歴、身体所見、血液検査結果、画像検査所見、内視鏡所見、手術所見、病理検査所見、細胞診検査所見、生存予後情報

【個人情報の取り扱い】

本研究で得られた試料・情報は、氏名等の情報を削除し、個人が特定できないよう加工して、第三者には個人が特定できない形で使用します。加工する前の個人情報と研究データを結びつける一覧表（対応表）は厳重に管理し、研究終了後5年後もしくは成果発表から3年後の何れか遅い方に破棄します。

【情報の開示について】

ご希望があれば、研究計画の資料やご自身の情報について、可能な範囲で開示いたします。ご家族と一緒に説明を受けることも可能です。ご不明な点があれば、遠慮なくお問い合わせください。

【研究資金・利益相反^{りえきそうはん}について】

この研究は、特定企業等からの資金提供はないため開示すべき利益相反はありません。

【研究組織】

代表研究機関名：東海大学

研究代表者所属・氏名：医学部基盤診療学系病理診断学・眞杉洋平

共同研究機関リスト

共同研究機関名 公益財団法人がん研究会 がん研究所

研究責任者所属・職 情報医科学プロジェクト・プロジェクトリーダー

氏名 鎌谷高志

連絡先 takashi.kamatani@jfcr.or.jp

その他、本研究に関するご質問、ご相談等は、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

【お問い合わせ先】

東海大学医学部基盤診療学系病理診断学

電話：0463-93-1121（代表） 内線：3171

研究責任者（代表者）眞杉 洋平

担当者：病理診断科 眞杉 洋平

[更新履歴]

2026年4月20日 第2版